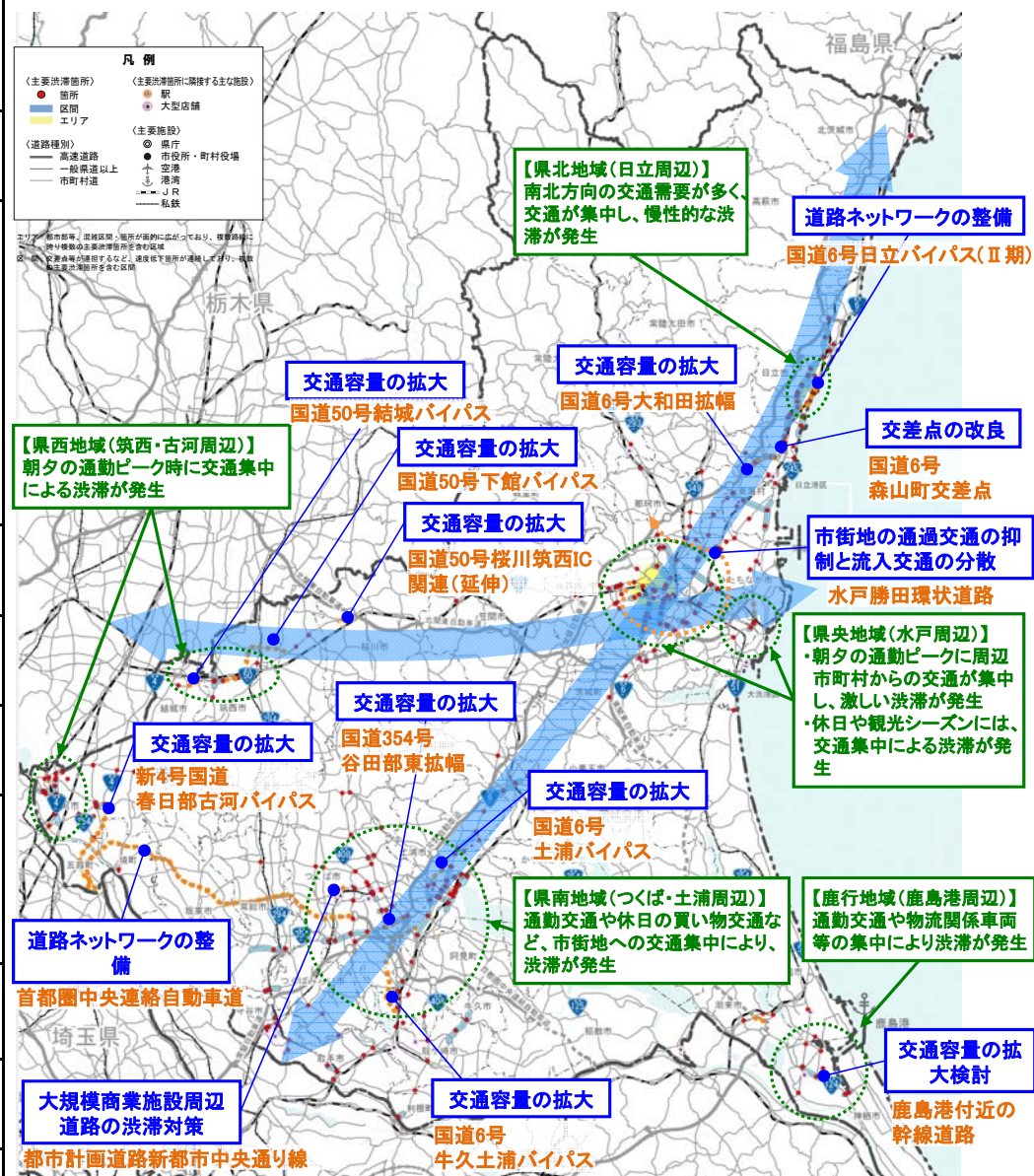


### 1. 茨城県の概況

	概要
茨城県の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>北部から北西部は山々が連なるものの中央部から南西部は関東平野が広がり、可住地面積が3,982km<sup>2</sup>と全国でも4番目に広く、県内を移動するため、通勤・通学や買い物、通院等の日常生活においては自動車交通への依存が高い地域となっています。 ⇒人口千人あたりの自家用乗用車保有台数は約626台/千人で全国第3位となっています。</li> <li>首都圏と東北を連絡する南北方向の国道6号沿いに水戸市や土浦市など、北関東を連絡する東西方向の国道50号沿いに筑西市、国道4号沿いの古河市など、幹線道路沿いに主要な都市が集中しています。</li> </ul>
	<p>○<b>県央地域(水戸周辺)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県庁所在地である水戸市には、産業、教育、文化等の多くの都市機能が集積するとともに、東西方向の交通軸と南北方向の交通軸が交差する交通の要衝となっています。</li> </ul> <p>○<b>県南地域(つくば・土浦周辺)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都心に近接し、東京のベッドタウンとして都市化が進んでいます。</li> </ul> <p>○<b>県北地域(日立周辺)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高度なものづくり技術を有する工場が数多く集積しています。</li> </ul> <p>○<b>鹿行地域(鹿島港周辺)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鹿島港を中心とする鹿島臨海工業地域があり、鉄鋼・石油化学などの素材産業が集積しています。</li> </ul> <p>○<b>県西地域(筑西・古河周辺)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年、企業立地が進展しており、自動車産業の集積による地域産業の活性化や、流通・業務拠点の整備促進が進んでいます。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>茨城県内には大型商業施設や水戸偕楽園、大洗等の海水浴場、県立カシマサッカースタジアムなど、商業、歴史・文化・スポーツ施設や観光施設が多く、休日・観光シーズン等には県内外から多くの買い物客、観光客が訪れています。</li> </ul>
道路交通状況	<p>【<b>県北地域(日立周辺)</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山地部と海岸線に挟まれた<b>南北に細長い地域に工場、商業地、住宅地が密集し</b>、幹線道路は南北方向の国道6号及び国道245号のみで2車線のため、<b>交通が集中し、慢性的な渋滞が発生</b>しています。</li> </ul>
	<p>【<b>県央地域(水戸周辺)</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南北の交通軸である国道6号と東西の交通軸である国道50号が交わる交通の要衝であり、また企業等が集まる地域であるため、<b>朝夕の通勤時に激しい渋滞が発生</b>しています。</li> </ul>
	<p>【<b>県南地域(つくば・土浦周辺)</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つくば市は、職住一体型の研究都市として開発されましたが、近年はその利便性から首都圏のベッドタウンとして、また、県南地域の商業地として発展してきたため、<b>平日朝夕の通勤ピークや休日の大規模商業施設付近で渋滞が発生</b>しています。</li> <li>土浦市は、江戸時代から城下町として発展し、周辺の市町村からの道路が集まる交通の要衝となっていますが、市内を通過する道路が少なく交通集中による渋滞が発生しています。</li> </ul>
	<p>【<b>鹿行地域(鹿島港周辺)</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鹿島臨海工業地域に向かう<b>通勤交通等の集中</b>により、朝夕の通勤ピーク時や、鹿島港の公共埠頭付近における<b>物流関係車両が昼間集中</b>することで渋滞が発生しています。</li> </ul>
	<p>【<b>県西地域(筑西・古河周辺)</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自家用車による通勤が多く、国道50号筑西市付近や古河市の中心部では、<b>朝夕の通勤ピーク時に交通集中による渋滞が発生</b>しています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>休日は、大型商業施設周辺(つくば、土浦等)において交通集中により渋滞が発生しています。</li> <li>県立カシマサッカースタジアム周辺から潮来ICや千葉県境にかけてのエリアでは、Jリーグ試合開催日に交通集中による渋滞が発生しています。</li> </ul>

### 3. 茨城県の交通ネットワークイメージ

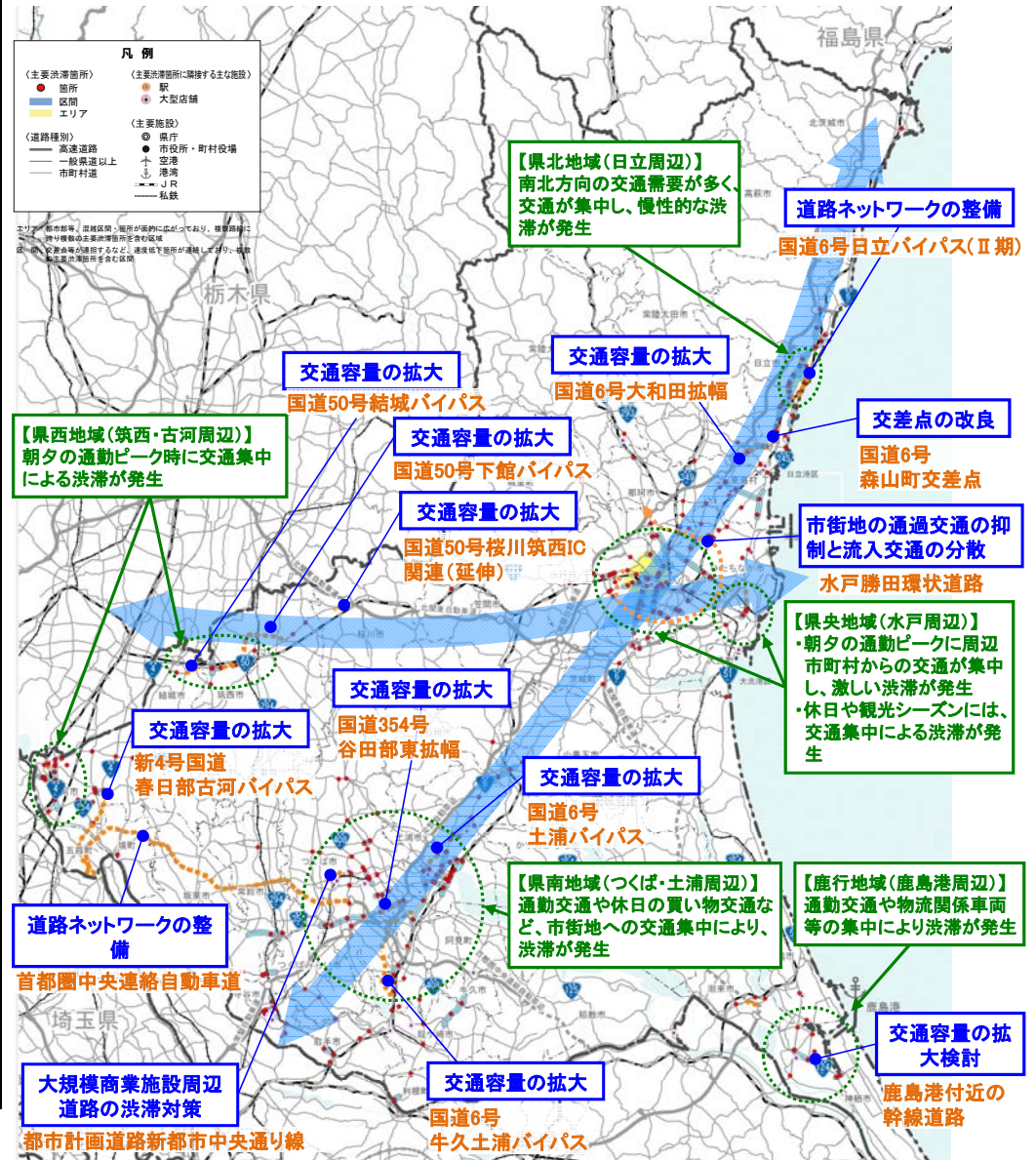


# ■茨城県全体における対応方針について(案)

## 2. 方向性

概要	
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城県においては、朝夕の通勤・通学時に集中する交通による交通渋滞、休日等における大型商業施設や観光施設等に集中する交通による交通渋滞について、それぞれの渋滞要因に即した対策を総合的に講じていきます。</li> <li>公共交通の利用促進や自動車交通需要の抑制の推進を図ります。</li> </ul>
道路整備	<p>①朝夕の通勤・通学時に集中する交通による渋滞の対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■都市内交通と通過交通の分離</li> <li>市街地を迂回する道路ネットワークの整備により、<b>市街地を通過する交通の抑制、流入交通の分散</b>を図ります。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→環状道路の整備(水戸勝田環状道路(水戸))</li> </ul> </li> <li>■市街地における交通容量不足による渋滞の対策について</li> <li>市街地における交通需要に対し、交通容量不足による渋滞については、既存道路の車線数を増やして<b>交通容量の拡大</b>を図ります。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→国道6号大和田拡幅(日立)</li> <li>→国道354号谷田部東拡幅(つくば)</li> <li>→国道6号土浦バイパス</li> <li>→国道50号結城バイパス</li> <li>→国道50号桜川筑西IC関連(延伸)</li> <li>→鹿島港付近の幹線道路の交通容量拡大 等</li> </ul> </li> <li>新たな<b>道路ネットワークの整備</b>により交通容量の拡大を図り、市街地への流入交通を分散します。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→国道6号日立バイパス(Ⅱ期)</li> <li>→国道50号下館バイパス</li> <li>→新4号国道春日部古河バイパス</li> <li>→首都圏中央連絡自動車道(つくば中央～五霞)</li> </ul> </li> <li>■交差点形状や道路構造の改良による交通流の円滑化</li> <li>円滑な交通となるよう<b>交差点改良</b>や道路改良を実施致します。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→右左折車線の設置(国道6号森山町交差点(日立))</li> </ul> </li> </ul> <p>②休日等における大型商業施設や観光施設等の渋滞の対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■アクセス道路の渋滞対策</li> <li>大型商業施設や観光施設等へのアクセス道路の渋滞については、<b>交通容量の拡大</b>や<b>アクセス道路の整備</b>による交通の分散を図ります。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→アクセス道路の交通容量の拡大(国道6号土浦バイパス)</li> <li>→アクセス道路の整備(国道6号牛久土浦バイパス、都市計画道路新都市中央通り線(つくば))</li> </ul> </li> <li>■観光地周辺の渋滞対策</li> <li>観光シーズン時における適切な交通誘導の実施等のソフト対策を実施します。</li> </ul>

## 3. 茨城県の交通ネットワークイメージ



# ■茨城県県北地域(日立周辺)における対応方針について(案)

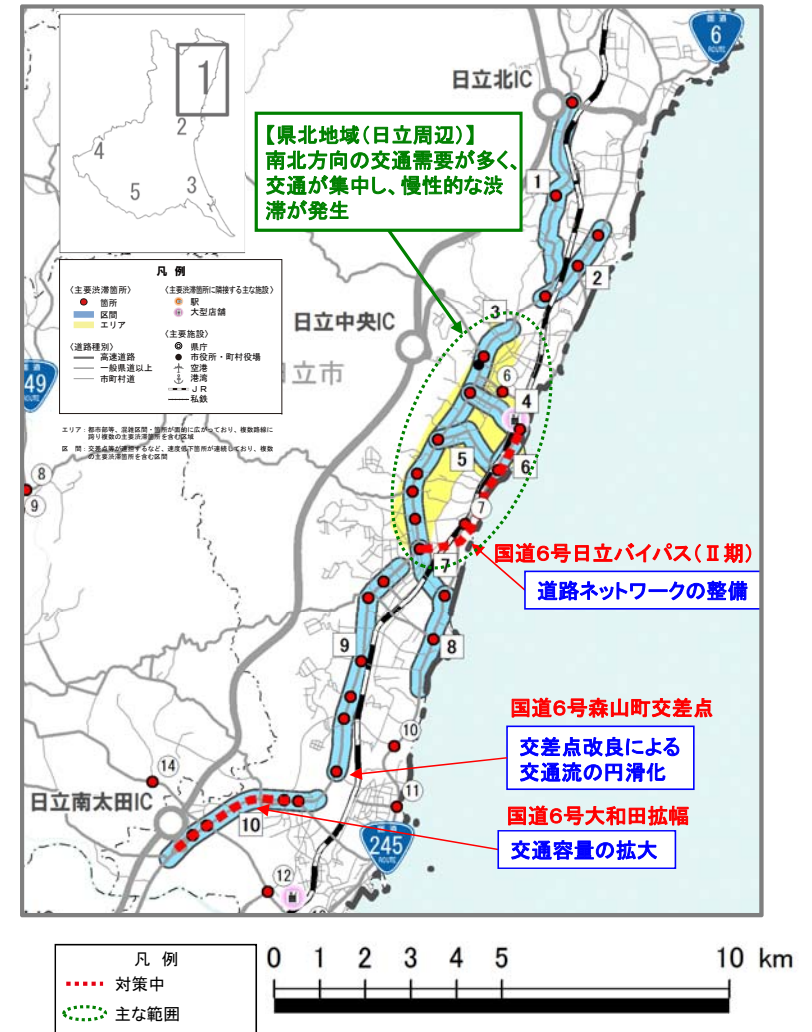
## 1. 茨城県県北地域(日立周辺)の概況

概要	
茨城県 県北地域 (日立周辺) の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>常磐自動車道、国道6号、重点港湾である茨城港日立港区、常陸那珂港区など、国内外を結ぶ広域交通ネットワークの整備が進んでおり、これらを活かした物流拠点や工業団地の整備が進められており、我が国を先導する先端産業地域、競争力のあるものづくり産業地域の形成が進んでいます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>山地部と海岸線に挟まれた南北に細長い地域に工場、商業地、住宅地が密集しています。幹線道路は南北方向の海岸線沿いに並行する国道6号及び国道245号のみで2車線のため通過交通と地域内交通が混在、集中し、慢性的な渋滞が発生しています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>南北に延びた太平洋の海岸線には6つの海水浴場があります。</li> </ul>
道路 交通 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に日立市内の工場周辺や高速道路から一般道への合流部付近では、朝夕の通勤ピーク時間帯を中心に、交通集中による渋滞が発生しています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏の海水浴シーズンには海岸線の国道245号で交通渋滞が発生しています。</li> </ul>

## 2. 現在の対策等

概要	
道路 整備	<p>①朝夕の通勤・通学時に集中する交通による渋滞の対策について</p> <p>■市街地における交通容量不足による渋滞の対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな道路ネットワークの整備により交通容量の拡大を図り、市街地への流入交通を分散します。 →道路ネットワークの整備(国道6号日立バイパス(Ⅱ期))</li> <li>市街地における交通需要に対し、交通容量不足による渋滞については、既存道路の車線数を増やして交通容量の拡大を図ります。 →道路拡幅による車線数の増加(国道6号大和田拡幅)</li> </ul> <p>■交差点形状や道路構造の改良による交通流の円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交差点において右左折車線がないために生じている渋滞については、右左折車線を増設し交通円滑化を図ります。 →右左折車線の増設(国道6号森山町交差点)</li> </ul>
	<p>②海水浴シーズンにおける渋滞の対策について</p> <p>■アクセス道路の渋滞対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海水浴場への交通需要に対し交通容量不足による渋滞については、新たな道路ネットワークの整備により交通容量の拡大を図り、市街地への流入交通を分散します。 →道路ネットワークの整備(国道6号日立バイパス(Ⅱ期))</li> </ul>
ソフト 施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>海水浴シーズンの多客期における迂回路の案内や、道路標識の整備による通過交通の案内誘導の改善を図ります。</li> <li>公共交通の利用促進や自動車交通需要の抑制の推進を図ります。</li> </ul>

## 3. 茨城県県北地域(日立周辺)の主要渋滞箇所と現在の対策等



# 茨城県県央地域(水戸周辺)における対応方針について(案)

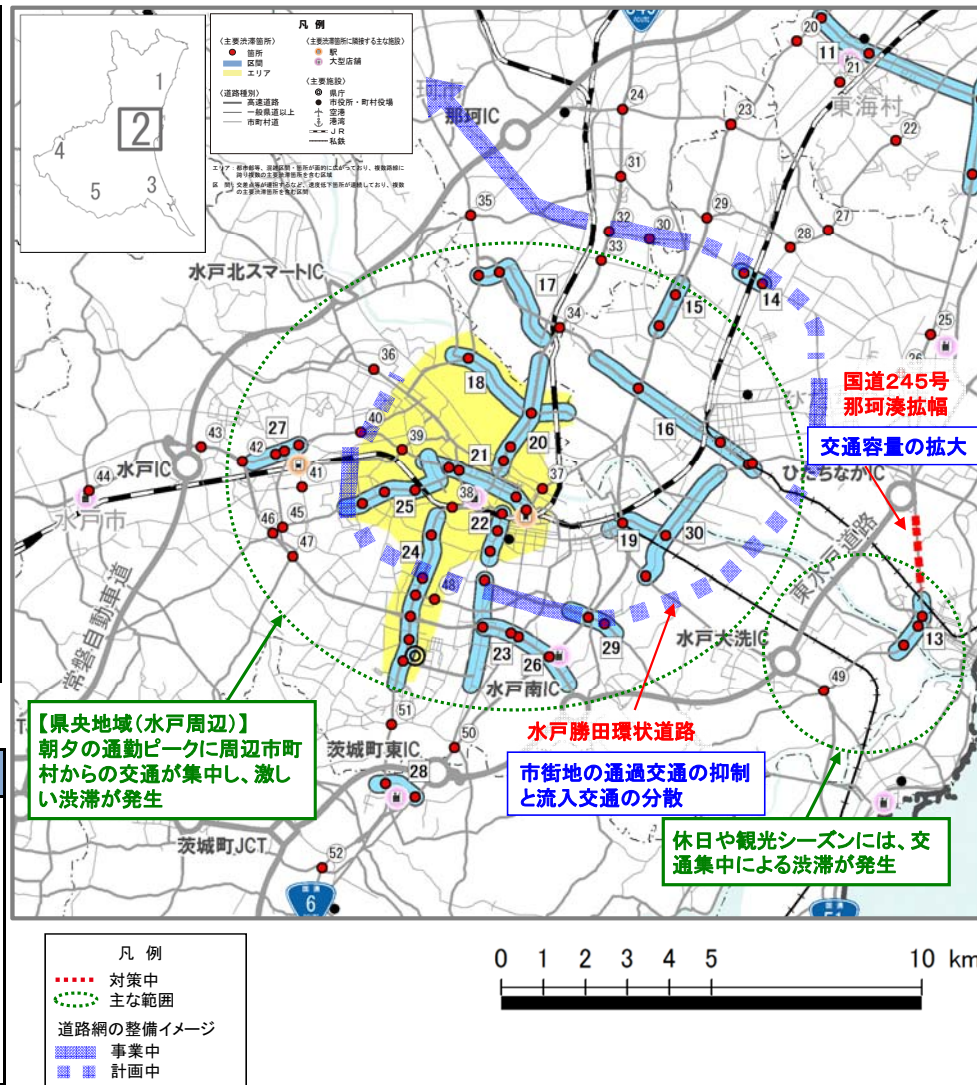
## 1. 茨城県県央地域(水戸周辺)の概況

	概要
茨城県 県央地域 (水戸周辺) の状況	<p>・常磐自動車道とともに、県内を縦横に結ぶ北関東自動車道、東関東自動車道水戸線といった高速道路網が整備されています。また、茨城港常陸那珂港区、大洗港区の重要港湾など、国内外を結ぶ陸・海の広域交通ネットワークの整備が進んでいます。</p>
	<p>・県庁所在地であり、企業や商業施設等の都市機能の集積が進む水戸市や、国際港湾公園都市を目指したまちづくりが進められているひたちなか地区などは、茨城県の行政・経済・文化の中枢的な役割を担っています。</p>
	<p>・水戸の偕楽園、ひたち海浜公園、アクアワールド大洗、大洗や阿字ヶ浦等の海水浴場など、歴史・文化施設や観光施設が多く、県内外から多くの観光客が訪れています。</p>
道路 交通 状況	<p>・南北の交通軸である国道6号と東西の交通軸である国道50号が交わる交通の要衝であり、朝夕の通勤・通学時間帯は、水戸駅周辺や水戸市街地周辺部等で、交通集中による渋滞が発生しています。</p>
	<p>・国際海上コンテナターミナルを有する常陸那珂港区は、貨物取扱量年間約650万トン(H22年)と北関東屈指の港湾であり、物流交通により周辺道路の交通量が増加しています。</p>
	<p>・水戸市内中心部には偕楽園、沿岸部にはひたち海浜公園や大洗海水浴場があり、休日や観光シーズンにおいて交通集中による渋滞が発生しています。</p>

## 2. 現在の対策等

	概要
道路 整備	<p>①朝夕の通勤・通学時に集中する交通による渋滞の対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■都市内交通と通過交通の分離</li> <li>・市街地を迂回する道路ネットワークの整備により、<b>市街地を通過する交通の抑制、流入交通の分散</b>を図ります。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→環状道路の整備(水戸勝田環状道路)</li> </ul> </li> <li>■市街地における交通容量不足による渋滞の対策について</li> <li>・市街地における交通需要に対し交通容量不足による渋滞については、既存道路の車線数を増やして<b>交通容量の拡大</b>を図ります。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→車線増による交通容量の拡大(国道245号那珂湊拡幅)</li> </ul> </li> </ul>
	<p>②休日や観光シーズンにおける渋滞の対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■アクセス道路の渋滞の対策</li> <li>・観光施設への交通需要に対し交通容量不足による渋滞については、車線数を増やして<b>交通容量の拡大</b>を図ります。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→車線増による交通容量の拡大(国道245号那珂湊拡幅)</li> </ul> </li> </ul>
ソフト 施策	<p>・休日の多客期における迂回路の案内や、道路標識の整備による通過交通の案内誘導の改善を図ります。</p> <p>・公共交通の利用促進や自動車交通需要の抑制の推進を図ります。</p>

## 3. 茨城県県央地域(水戸周辺)の主要渋滞箇所と現在の対策等



# ■茨城県鹿行地域(鹿島港周辺)における対応方針について(案)

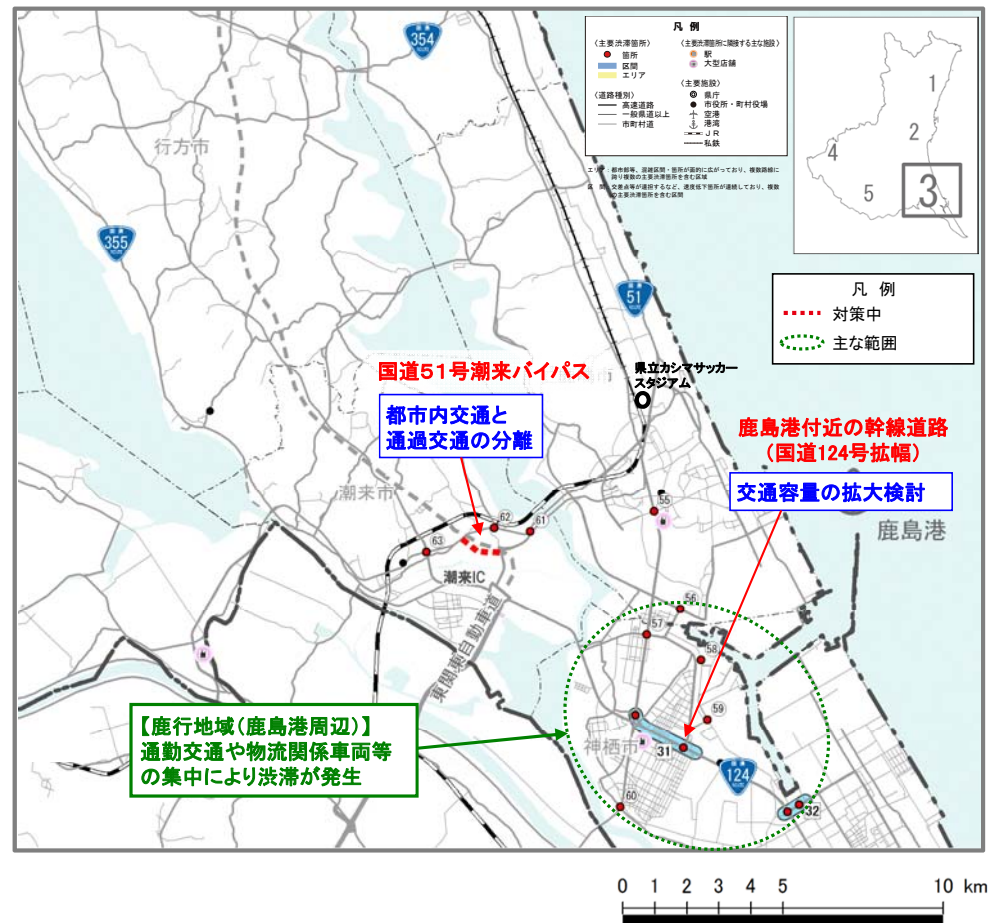
## 1. 茨城県鹿行地域(鹿島港周辺)の概況

概 要	
茨城県 鹿行地域 (鹿島港周辺) の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要港湾である鹿島港を中心に、鉄鋼業、発電所、石油化学等の工場群で構成される鹿島臨海工業地域が形成されています。約180の企業が集積し茨城県下最大の工場集積を誇っております。</li> <li>水郷潮来、霞ヶ浦・北浦、鹿島灘などの茨城県を代表する豊かな自然環境や鹿島神宮などの歴史的・文化的資源を活用した魅力ある地域となっているほか、海水浴場や県立カシマサッカースタジアムなど多様な地域資源が存在しています。</li> </ul>
道路 交通 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>鹿島臨海工業地域に向かう通勤交通等の集中により、朝夕の通勤ピーク時や、鹿島港の公共埠頭付近における物流関係車両が昼間集中することで渋滞が発生しています。</li> <li>霞ヶ浦、北浦、利根川に囲まれた地域であるため、特にこれらの渡河部の道路網が少なく、渡河部において交通集中による渋滞が発生しています。</li> <li>潮来市街地においては、人口密集地を国道51号が貫き狭隘な道路構造のため、交通集中による渋滞が発生しています。</li> <li>県立カシマサッカースタジアム周辺から潮来ICや千葉県境にかけてのエリアでは、Jリーグ試合開催日に交通集中による渋滞が発生しています。</li> </ul>

## 2. 現在の対策等

概 要	
道路 整備	<p>① 港湾施設や工場等の業務交通に起因する渋滞の対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鹿島港周辺における交通容量不足による渋滞の対策について</li> <li>鹿島港周辺において、既存の道路の車線数を増やすなど<b>交通容量の拡大</b>を図ります。 → <b>鹿島港付近の幹線道路</b>の交通容量拡大検討(国道124号拡幅)</li> </ul> <p>② 朝夕の通勤・通学時に集中する交通による渋滞の対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市内交通と通過交通の分離</li> <li>潮来市内を通過する交通の分散化を図るため、バイパス道路の整備を行います。 → バイパス道路の整備(国道51号潮来バイパス)</li> </ul>
ソフト 施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>Jリーグ試合開催時の迂回路案内による交通分散や、道路標識の整備による通過交通の案内誘導の改善を図ります。</li> <li>公共交通の利用促進や自動車交通需要の抑制の推進を図ります。</li> </ul>

## 3. 茨城県鹿行地域(鹿島港周辺)の主要渋滞箇所と現在の対策等



# ■茨城県県西地域(筑西・古河周辺)における対応方針について(案)

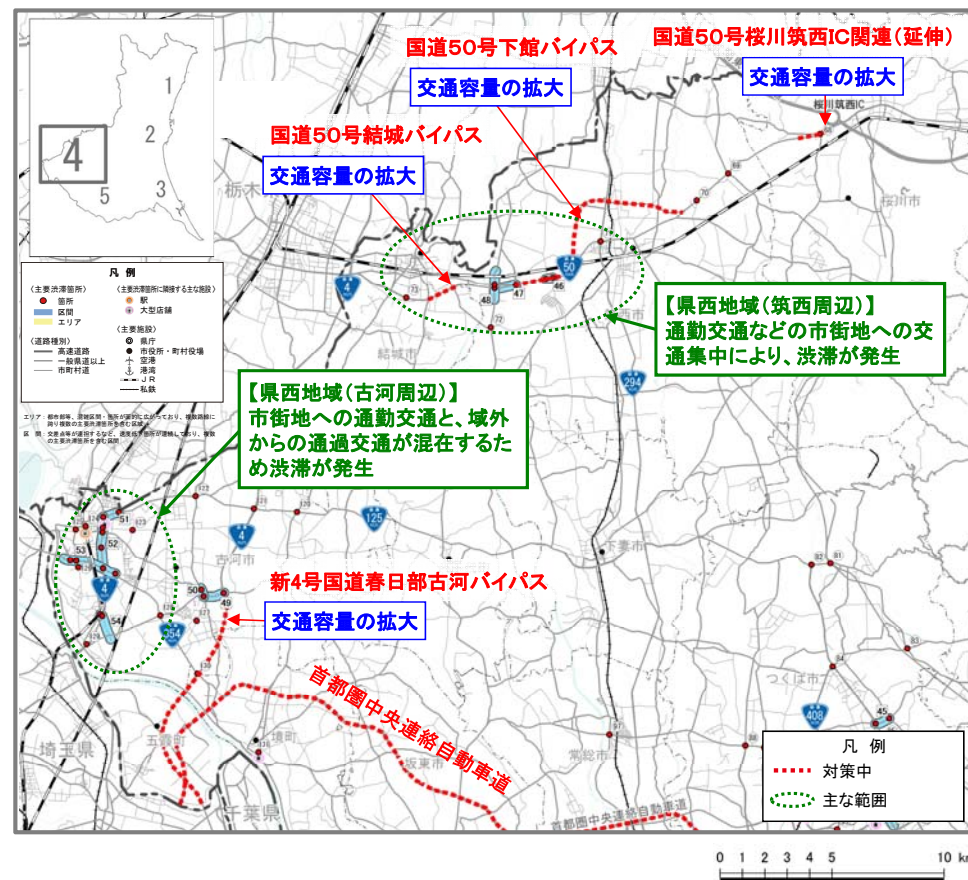
## 1. 茨城県県西地域(筑西・古河周辺)の概況

	概要
茨城県 県西地域 (筑西・古河 周辺) の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>北関東自動車道の開通や国道50号、新4号国道の整備により、近年は企業立地が進んでいます。また、自動車産業の集積による地域産業の活性化や、流通・業務拠点の整備促進が進んでいます。</li> <li>古河市、坂東市では、地元企業の技術力・開発力の向上や企業間連携の促進により競争力のある地域産業を育成しています。また、高品質な青果物の安定供給とブランド化を推進し、日本を代表する大規模野菜産地の形成を目指しています。</li> <li>筑西市、結城市、桜川市では、結城紬や石材加工などの地場産業が盛んです。さらに地元産品と歴史的街並みを一体的に活用した観光地づくりを進めています。</li> </ul>
道路 交通 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>東西の交通軸である国道50号では、朝夕の通勤・通学時間帯は、結城市街や筑西市街で、交通集中による渋滞が発生しています。</li> <li>桜川筑西IC周辺では、平日朝の時間帯に交通集中による渋滞が発生しています。</li> <li>古河市内の国道4号では、市街地への通勤交通と域外の通過交通が混在するため、特に朝夕の通勤ピーク時に交通集中による渋滞が発生しています。</li> </ul>

## 2. 現在の対策等

	概要
道路 整備	<p>①朝夕の通勤・通学時に集中する交通による渋滞の対策について</p> <p>■市街地における交通容量不足による渋滞の対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内を通過する交通の分散を図るためバイパス道路の交通容量の拡大を図ります。 →バイパス道路の整備(国道50号結城バイパス、国道50号下館バイパス)</li> <li>桜川筑西IC周辺において、既存の道路の車線数を増やすなど交通容量の拡大を図ります。 →IC関連道路整備(国道50号桜川筑西IC関連(延伸))</li> </ul> <p>■都市内交通と通過交通の分離</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内を通過する交通の分散を図るため、新4号国道の6車線化事業を進めています。 →6車線化事業の推進(新4号国道春日部古河バイパス)</li> </ul>
ソフト 施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路標識の整備による通過交通の案内誘導の改善を図ります。</li> <li>公共交通の利用促進や自動車交通需要の抑制の推進を図ります。</li> </ul>

## 3. 茨城県県西地域(筑西・古河周辺)の主要渋滞箇所と現在の対策等



# ■茨城県県南地域(つくば・土浦周辺)における対応方針について(案)

## 1. 茨城県県南地域(つくば・土浦周辺)の概況

概要	
茨城県 県南地域 (つくば・土 浦周辺) の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>都心に近接し、東京のベッタウンとして都市化が進んでいます。</li> <li>常磐自動車道や首都圏中央連絡自動車道の高速道路網及びJR常磐線やつくばエクスプレス(TX)の鉄道網による広域交通ネットワークが形成されています。</li> <li>世界的な科学技術の拠点である筑波研究学園都市をはじめ、多くの工業団地(中貫工業団地等)が集積しています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>つくば市周辺は、職住一体型の研究都市として開発されましたが、近年はその利便性から首都圏のベッタウンとして発展してきました。</li> <li>土浦市周辺は、江戸時代から城下町として発展し、周辺の市町村からの道路が集まる交通の要衝となっています。</li> <li>牛久市などJR常磐線沿線地域においては、駅周辺を中心に都市機能の再編による市街地の活性化や、良好な居住環境の整備による賑わいのあるまちづくりを進めています。</li> <li>大規模小売店舗が多数立地しており、茨城県全体の34%を占めています。</li> </ul>
	道路 交通 状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>2005年に開業したつくばエクスプレス(TX)は、東京方向への交通分担を大きく変えたものの、元々職住一体型都市であり自動車依存地域であることから、平日朝夕の通勤ピーク時には、交通集中による渋滞が発生しています。また、東西方向を結ぶ幹線道路が不足しているため、国道354号では朝夕を中心に交通が集中し、渋滞が発生しています。</li> <li>土浦市は、市内へアクセスする道路が少なく、交通集中による渋滞が発生しています。</li> <li>つくば市や牛久市周辺では、大規模商業施設が相次いでオープンしており、休日は、交通集中により渋滞が発生しています。</li> </ul>	

## 2. 現在の対策等

概要	
道路 整備	<p>①朝夕の通勤・通学時に集中する交通による渋滞の対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市街地における交通容量不足による渋滞の対策について</li> <li>市内を通過する交通の分散を図るためバイパス道路の交通容量の拡大を図ります。 →交通容量の拡大(国道6号土浦バイパス)</li> <li>新たな道路ネットワークの整備により交通容量の拡大を図り、市街地への流入交通を分散します。 →道路ネットワークの整備(国道6号牛久土浦バイパス)</li> <li>既存の道路の車線数を増やして交通容量の拡大を図ります。 →道路幅による車線増(国道354号谷田部東拡幅)</li> </ul>
	<p>②東西方向を結ぶ主要幹線道路の渋滞の対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>車線数の少ない幹線道路の渋滞対策として新たな道路ネットワークを整備します。</li> <li>新たな道路を整備して面的な交通容量の拡大を図り交通を分散します。 →道路ネットワークの整備(首都圏中央連絡自動車道(つくば中央～五霞))</li> </ul>
	<p>③休日等における大型商業施設への渋滞の対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模商業施設周辺の交通需要に対し交通容量不足による渋滞については、車線数を増やして交通容量の拡大を図ります。 →アクセス道路の交通容量の拡大(国道6号土浦バイパス)</li> <li>大規模商業施設周辺のアクセス道路を整備します。 →アクセス道路の整備(国道6号牛久土浦バイパス、都市計画道路新都心中央通り線)</li> </ul>
ソフト 施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路標識の整備による通過交通の案内誘導の改善を図ります。</li> <li>公共交通の利用促進や自動車交通需要の抑制の推進を図ります。</li> </ul>

## 3. 茨城県県南地域(つくば・土浦周辺)の主要渋滞箇所と現在の対策等

